

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等		山本裕稀	実践日	令和3年11月18日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		地理歴史・日本史B(中世の流通)		
対象生徒(学年等)		普通科2年生		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☒ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
	家庭学習	☐ その他() ☐ 振り返り ☒ 探究 ☒ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 前時の学習内容の確認 - 前時の授業で学習した内容を、前時で作成した Jamboard を使ってペアで確認する。 (2) グループで発表スライドを作成 「なぜ中世に流通が発展したのか」という問いについて、宿題で作成したスライドを用いてグループで発表を行い、その後互いの意見を検討して、班の意見を Google スライドにまとめる。 (3) 班で作成した意見を全体で共有 - 生徒の端末をスクリーンにつなぎ、班ごとに発表を行う。 - 発表後、教員が生徒の発表をもとに解説を行う。 (4) 個人の取組 - 問いに対する自分の最終的な意見を、Google Forms に回答する。 (5) まとめ・振り返り - Google スプレッドシートに本時の振り返りを入力させる。 - 宿題として、「流通における現在の中世の課題」について考えさせ、Google スライドにまとめさせる。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) - 教員がクラスルームに投稿した動画を家庭で見て学習し、自分の意見を Google スライドにまとめてくる。 (本時後) - 流通における中世の日本と現代それぞれの課題について、自分の意見を Google スライドでまとめさせる。				